

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北海道)	◎	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス、特に変異種の感染状況とワクチン接種の実施状況によって変わってくるが、現状では首都圏の緊急事態宣言解除に伴って、春から初夏に掛けての旅行需要の回復が大いに期待できる。特に北海道は国内旅行の目的地として注目されている様子がうかがえる。
	◎	観光名所（従業員）	・新型コロナウイルスに対して自己防衛しながら、楽しむことは楽しもうという客が増えてきている。このまま個々で対策しながら日常を取り戻そうという雰囲気が強まることを期待している。
	○	商店街（代表者）	・4月中旬からワクチン接種が始まることになれば、当区域を訪れるきっかけにもなるため、これまで郊外に向けられていた客足も少しずつ回復していくことになる。新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、初夏以降は道内外からの旅行者が微増することも期待できるため、交通、宿泊、飲食などの売上が伸びることになる。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	・現在はゴーストタウンに近い状態だが、医療従事者へのワクチン接種が始まったことで景気がやや良くなると期待している。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者はこれからも少しずつ増えていき、波が繰り返されるとみているが、それによってどのような状況になるのか見通せないというのが正直なところである。ただ、客の様子をみると、そろそろ旅行したいという欲求が高まっていると感じられるため、今後については感染対策を行いながら、少しずつ客が増えてくるとみている。
	○	一般小売店〔酒〕（経営者）	・今後については、新型コロナウイルスの感染状況次第ではあるが、客の消費意欲が衰えていないことから、売上が回復すると期待している。
	○	百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルス感染対策に伴う自粛疲れもあり、客の購買意欲が上向いてきている。現在の感染状況のまま推移すれば、今後の景気は良くなっていく。
	○	百貨店（販売促進担当）	・現状、来客数や買上率が回復傾向にあり、客の買い回りも活発になっている。今後もこうした傾向は続くと思われるため、消費は回復することになる。
	○	百貨店（営業販促担当）	・イベントへの集客など、一部で回復の動きがみられるようになってきている。高額商材の動きも良くなっているため、全体的な景気も徐々に上向くことになる。取引先の対応も前年よりは改善することが見込まれる。
	○	スーパー（店長）	・前年は感染拡大防止対策として、営業時間の短縮や専門店街の営業自粛などが行われていたが、今年は全て通常営業となっていることから、今後の景気はやや良くなる。一昨年の水準までは戻らないとしても、前年から2けたの伸びが見込まれる。
	○	スーパー（役員）	・入学式や花見など、身近な行事の動きが少しずつ例年並みに戻っている。客の行動も明るい方向に進んでいることから、今後の景気はやや良くなる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う客の行動抑制が緩和されることで、酒類を中心とした需要が増えていくことが見込まれる。ただ、回復の度合いは行動抑制の強弱で決まってくることになる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・自粛が1年以上続いていることから、新型コロナウイルスの感染が再拡大したとしても、我慢ができなくなり、周りの地域と人の行き来が増えることが見込まれる。また、Go To Travelキャンペーンに付随した内容の企画が進むことも期待できる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・前年4月は売上の減った時期であるため、前年比では上回ることが期待できる。来客数の減少を見込んだうえで、どのように単価を上げていくかが鍵となる。
	○	衣料品専門店（店長）	・客が必要な商材を徐々に買っていきが見込めるため、今後については緩やかな回復基調になる。ただ、経営的には危機的な状況がまだ続いており、先行きの見通しが立っていない。

<input type="radio"/>	乗用車販売店（経営者）	・大きな変化はないとみているが、人の動きが活発になることを期待できるため、新型車の効果も含めて、多少は景気が好転することになる。ただし、新型コロナウイルスの感染再拡大がないことが条件である。
<input type="radio"/>	高級レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染再拡大は心配だが、SNSで地方客が当地域の飲食店を訪れる投稿も目立つようになってきていることから、以前と比べて、今後への期待が高まりつつある。ただ、期待していた東京オリンピックのマラソン開催の効果については、外国人の観客受入がゼロ、国内客が半減となるようであり、残念である。また、大会期間中、当店のシェフが中心市街地で実演を行う予定だが、集客や収益につながることは望みにくい。
<input type="radio"/>	観光型ホテル（スタッフ）	・国内からの個人旅行が少しずつ回復している。催行は不確定だが、コンサートに関連した宿泊予約も入り始めている。
<input type="radio"/>	旅行代理店（従業員）	・ワクチンの接種開始や東京オリンピック開催などによって、客の雰囲気が変わってくるのが期待できるため、今後の景気はやや良くなる。
<input type="radio"/>	通信会社（企画担当）	・ワクチンの普及など、新型コロナウイルスの感染対策が進むことで、街中への人出が回復することが期待でき、それに伴って店舗への来客数も増加することになる。
<input type="radio"/>	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況について、現在のような状態で推移するのであれば、今後は来客数、売上がかなり増加すると期待できる。再度の自粛要請などが出ないことを願うばかりである。
<input type="radio"/>	その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・ワクチンの接種状況次第であるが、今後、Go To Travelキャンペーンなどの施策が行われることで、輸送量が徐々に増加することになる。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスについて、感染再拡大の懸念があることから、今後も景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・このまま現在の好調な状況が続くことを期待している。
<input type="checkbox"/>	百貨店（役員）	・新型コロナウイルスの影響で一進一退の状況が続いているため、景気の先行きについては不明瞭な状態にある。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・前年は新型コロナウイルスの感染状況について、終息傾向がみえていた時期であったため、Go To Travelキャンペーンなどでの後押しがあった。今年は東京オリンピックが開催されるまで回復基調にはならないと見込まれるため、今後も景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の計画遅れや感染者数のリバウンド傾向などから、消費マインドの先行きがなかなか見通せない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの終息が見通せないため、今後も景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（経営者）	・空気清浄機やエアコンを中心としたウイルス対策商材が前年を大きく上回る売上となっている。家電品については、個人需要が伸び悩んでいる一方で、法人需要が旺盛である。これらのことから、今後の景気はやや良くなる。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・今後については春の季節需要を期待している。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・北海道の場合、暖かくなるにつれて、来客数が増える傾向があるため、これから成約が増えてくることが期待できる。一方、新型コロナウイルスの感染状況について、感染者数が増えてきている地域もあるが、北海道はそこまで増えてきているわけではないことから、今後は悪くても3月並みの水準を保つことができると見込んでいる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・期末手当が前年よりも減っており、同様の企業が周りに多いとみられる。4月のベースアップ交渉も思うようには進まないことが見込まれるため、今後は現状維持での推移となる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、先行きが見えない状況ではなくなってきたことで、今まで抑えていた消費も元に戻りつつあることから、今後の景気はやや良くなる。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔造花〕（店長）	・3月の前年比はプラスとなる見込みだが、前年の落ち込み幅が大きかったため、参考にはならない。今後についても動向は不透明である。

□	高級レストラン（経営者）	・東京などの緊急事態宣言が解除されたことから、少しは観光客が訪れるようになると期待できる。また、春を迎えて暖かくなることで、人出が増えてくことも期待できる。これらのことから、今までよりも多少は景気が良くなる。ただ、第4波で感染者数のリバウンドが懸念されているなか、北海道による札幌との往来自粛要請が出されており、当地においても感染者数がいつ増加してもおかしくないため、先行きの見通しが立たないというのが正直なところである。
□	観光型ホテル（経営者）	・北海道独自の観光キャンペーンなども開始されつつあるが、域内での需要喚起にとどまるため、今後2～3か月は集客の低迷が続くと見込まれる。
□	旅行代理店（従業員）	・景気が良くなるような兆しが見当たらない。
□	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況によって景気は大きく変動することになる。ここ数か月、同じような状況が続いていることから、景気が大きく改善するとは考えにくく、悪い状況のまま変わらずに推移する。事務所の要員も新型コロナウイルスの影響で2021年度は大幅削減となる。
□	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者数を完全に抑え込まない限り、旅行需要は戻らない。ワクチン接種が進まないで感染者数は減らないとみられるが、2～3か月後はまだ限られた人のみのワクチン接種にとどまり、全ての国民に行き渡っていないことが見込まれる。変異種ウイルスによる感染者数が増加していることもマイナスである。Go To Travelキャンペーンが再開していれば、少しは景気が良くなるだろうが、感染者数が減っていないと効果は余り期待できない。
□	観光名所（職員）	・北海道による集中対策期間が終了し、首都圏の緊急事態宣言も解除されたが、来客数は引き続き低調に推移している。Go To Travelキャンペーンの再開やワクチンの浸透など、人の動きが戻るきっかけがない限り、今後も厳しい状況が続く。
□	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの特効薬などが完成しない限り、今と同様の状態が続く。
▲	商店街（代表者）	・コロナ疲れで客の諦めムードが強まっていることから、今後の景気はやや悪くなる。
▲	商店街（代表者）	・国による緊急事態宣言が解除されたことで、観光客が回復すると期待していたが、再度の感染拡大により望みが絶たれた。期待していた東京オリンピックも観客受入に制限が掛かったことから、観光業界復活のめどが立たず、途方に暮れている。観光業界の経営環境は限界を超えており、早く手を打たないと存続が危ぶまれる状況にある。
▲	スーパー（役員）	・新型コロナウイルスの第4波に対する警戒が強まっているなか、多くの業態で業績が悪くなっていることで客の消費意欲が低下している。それが買上点数の減少に現れている。ワクチン接種も当初の予定と比べて相当遅れそうなので、先行きについては不透明な状況にある。
▲	スーパー（従業員）	・外食産業、観光産業の回復が遅れていることから、今後の景気はやや悪くなる。
▲	乗用車販売店（従業員）	・新年度になってこれからという時期だが、当業界では最盛期が過ぎ、若干景気が下向きになる時期であることから、今後の景気はやや悪くなる。
▲	自動車備品販売店（店長）	・緊急事態宣言の解除後にまん延防止等重点措置が要請されるなど、不安定な状況が続いていることから、今後の消費動向は縮小することになる。景気回復のためには、これまでになく対策を考案し、実行していくことが求められる。
▲	その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・現状は真の不景気が襲ってきた状況にある。新型コロナウイルスによる健康不安が完全になくならない限り、今後の景気は厳しくなる。
▲	高級レストラン（スタッフ）	・緊急事態宣言が解除されたことにより、感染が再び広がることが見込まれるため、今後の景気回復は見込めない。
▲	高級レストラン（スタッフ）	・観光客がメインの客層となるため、首都圏での緊急事態宣言が延長されたことで来客数の動きが鈍化している。前月と比べればやや増加しているが、全体的には厳しい状況が続いている。春先は異動の時期でもあるため、需要が高まることを期待したいが、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない限り、今後も大きな伸びは見込めない。

	▲	スナック（経営者）	・営業を再開したが、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くまで、景気が上向くことは期待できない。頑張って営業していくしかない。
	▲	タクシー運転手	・ここに来て新型コロナウイルスの感染者数が増加してきていることから、政府や自治体の対策内容によっては来客数に影響が生じることが懸念される。そのため、今後の景気はやや悪くなる。
	▲	タクシー運転手	・新型コロナウイルス禍のなか、まだまだ厳しい状況が続いている。感染者数のリバウンドなども懸念されているため、今後の景気は現状よりもやや厳しくなる。ワクチン接種の進み具合によって状況は変わってくるが、景気が回復するまでは相当な時間を要することになる。
	▲	タクシー運転手	・歓送迎会などの自粛ムードがみられるなど、タクシーの稼働が上向いてこない状況にある。医療従事者へのワクチン接種が始まったが、全ての国民にまでワクチンが行き渡るのは、まだまだ先になることから、今後の景気はやや悪くなる。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスについて先行きへの見通しが立たないこと、為替が円安傾向にあることなどから、若干物価がインフレ気味となってきている。コンテナ貨物の物流費用なども値上がり傾向にあり、国内市場にとっては余り良くない傾向が現れてきている。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で経済環境が悪化しているにもかかわらず、建築単価は下がっておらず、分譲マンションの販売価額も高止まりしたままである。そのため、分譲マンション市場における需要と供給のミスマッチはしばらく続く。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス対策として中途半端な自粛要請などが行われているが、感染者数や新型コロナウイルスの正確な特徴、PCR検査の正確さ、従来のインフルエンザとの比較など、科学に基づく正確な情報を国民に伝えていかなければ、不安ばかりが先行することになる。国民が委縮している状況が続く限り、今後の景気が良くなるわけがない。
	×	タクシー運転手	・例年4月になり、暖かくなると、雪のある3月までと比べてタクシーの利用が激減する。また、新型コロナウイルス禍で自粛が続いていることから、夜間の人出も期待できない。こうしたことから、今後の売上は3月よりも悪くなる。新型コロナウイルスの影響が生じている状況が1年以上続いていることで、資金繰りも大変になってきた。
	×	タクシー運転手	・次から次へと感染の波が押し寄せており、また変異種による感染拡大などもあり、一向に状況が改善してこない。地方では東京オリンピックの効果も期待できないなど、今後に向けての明るい材料が皆無である。
	×	タクシー運転手	・厳しい経営環境が続くなか、企業側の備蓄が底を突き始めている。
企業 動向 関連  (北海道)	◎	—	—
	○	建設業（経営者）	・稼働率にはまだ大分余裕があると見込まれるが、公共工事の発注が本格化し、土木、建築共に契約金額が積み上がってくることになる。ただ、新型コロナウイルスの影響を受けている飲食、観光、交通などがどれだけ回復するかが分からない。今後の回復状況によって街中の景気も左右されることになり、民間建築の需要もある程度連動することになる。
	○	建設業（役員）	・業種による濃淡はあるものの、新年度工事の新規受注に動きが始めている。新型コロナウイルス禍で見通しの立たない状況は脱しており、回復の兆しが見られる。公共土木工事の入札結果にも期待している。
	○	輸送業（支店長）	・首都圏での緊急事態宣言も解除されたことから、今後、荷動きが活発化することになる。
	○	通信業（営業担当）	・ワクチン接種が計画どおりに進むことになれば、経済活動の回復に伴って景況感も上向くことになる。
	○	金融業（従業員）	・北海道による集中対策期間の終了、1都3県の緊急事態宣言の解除などにより、経済活動がますます活発化することになる。また、道内においては観光業底上げのための施策が検討されていることから、新型コロナウイルスの感染再拡大の懸念はあるものの、3か月先の道内景気はやや良くなる。

	○	司法書士	・金融機関、不動産、建築などの動きから判断すると、2～3か月後は繁忙期に入ることに加えて、新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことへの期待感もあり、多少は景気が良くなる。ただし、建築業では、大工や職人が大都市や震災地域に集中することから、需要はあっても受注できない状況になることも懸念される。
	□	食料品製造業（従業員）	・景気が良くなるような案件がないことから、今後も変わらない。
	□	食料品製造業（従業員）	・価格改定後から販売量の減少が継続している。しばらくは現在の状況が続くことになる。
	□	家具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの第4波が懸念されることから、当面は現状維持のままで推移する。
	□	金属製品製造業（従業員）	・今後についても、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けることになる。ワクチンの接種計画についていまだに見通しが立っておらず、全国的に感染者が増加傾向にあることから、不安しかない。
	□	司法書士	・東京オリンピックの開催が4か月後に迫ってきているが、ワクチンの供給不足によって国民への接種の見通しが立っていないことから、今後の景気は厳しいまま変わらない。
	□	コピーサービス業（従業員）	・東京オリンピックでの景気向上は見込めないことから、今後の景気は現状維持又は悪くなる。
	□	その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	・北海道新幹線の札幌延伸に係る工事、再生可能エネルギー設備の建設などで動きがみられ、比較的堅調に推移していることから、今後も景気は変わらない。
	□	その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響で観光、外食を中心に景気回復が遅れている。第4波が警戒されていることもあり、今しばらく消極的な経済活動が続くそう。
	□	その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・新型コロナウイルスの感染状況や東京オリンピックを取り巻く状況に変わりが見られないなど、景気が良くなる要素が少ない。
	▲	建設業（従業員）	・年度末を控え、中規模以上の建設会社では受注目標を達成したとする営業担当者が多いが、新年度の受注については新型コロナウイルスの影響もあって全く見通せないようだ。
	▲	その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・現在、IT業界は決して悪い状況にはない。むしろ例年よりも良い状態だとさえ感じる。しかしながら、新型コロナウイルスの影響で景気がかなり悪化している業種もあることから、これからIT業界にも間違いなく影響が出てくることになる。ただ、それがいつ頃になるのか分からず、そのことがより一層不安にさせる。
	×	その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・今後、半年程度、仕事量が減少傾向で推移するとみられることから、ベース商材の売上も落ち込むとみられる。規模の大きな案件も一時的に止まっており、補助金などを活用する意識も薄くなっていることから、今後への見込みが薄い。
雇用 関連  (北海道)	◎	—	—
	○	求人情報誌製作会社（編集者）	・弱含みながらも、求人掲載件数に若干の増加傾向がみられる。
	○	求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルスの感染者数が低い水準で推移することになれば、雇用活動も活性化する。東京オリンピックのマラソン開催もプラス要因であるが、景気とともに感染拡大を連れてこないか心配している。
	○	求人情報誌製作会社（編集者）	・ワクチン接種が予定どおりに進むこと、新型コロナウイルスの感染者数が増えないことが前提であるが、今後の経済活動は現在よりも活発になる。
	□	人材派遣会社（社員）	・今年も春のイベントが抑制気味であり、労働者は雇用への不安、収入の先行きへの不安などを抱えている。そのため、消費拡大に消極的であり、景気の見通しが立たない状況にある。
	□	職業安定所（職員）	・就職件数は前年を上回っているが、雇用調整助成金の相談が増えているなど、今後も新型コロナウイルスの影響が続くことが見込まれる。
	□	職業安定所（職員）	・旅行や観光産業については、まだまだ回復に時間が掛かるとみられ、ゴールデンウィークを控えているものの、向こう2～3か月程度では大きな改善はみられない。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	・道内企業の状況を鑑みても、今後の景気が良くなる要素がほとんどない。

▲	求人情報誌製作会社（編集者）	・今のところ、建設業界は新型コロナウイルスの影響を受けておらず、地元経済を下支えしているが、公共事業の予算配分の見直しや年内に実施される総選挙の影響が心配される。
▲	職業安定所（職員）	・当地域における新規求人数は前年比マイナス7.3%、月間有効求人数は前年比マイナス10.6%となっている。いずれも減少していることから、当面は現在の水準のままで推移することが見込まれる。一方、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で需要が低迷している一部の業種においては、不安定な動きが継続しており、なお予断を許さない状況にある。
×	—	—